

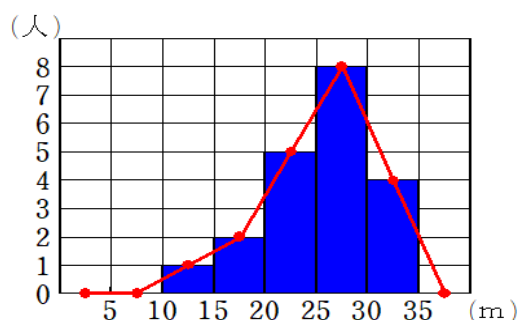
＜群馬県教育委員会 オンラインサポート授業＞
 数 学 中学1年「資料の活用① ～度数の分布～」【要点資料】

＜くめあて＞資料をどのように整理すると、傾向や特徴が読み取りやすくなるか？

度数分布表

階級(m)	度数(人)
5以上10未満	0
10～15	1
15～20	2
20～25	5
25～30	8
30～35	4
合 計	20

ヒストグラムと度数折れ線



《用語の確認》

「階級」・・・資料を整理するための区間
 「階級の幅」・・・区間の幅
 「階級値」・・・階級の真ん中の値
 「度数」・・・階級に入っている資料の個数

《用語の確認》

「ヒストグラム」・・・柱状グラフのこと
 「度数折れ線」・・・ヒストグラムでおのこの長方形の上の辺の midpoint を結んだ折れ線

資料を整理するために、「度数分布表」や「ヒストグラム」、「度数折れ線」を使います。



度数の合計が異なっている場合の比較方法は？

$$\text{（相対度数）} = \frac{\text{（その階級の度数）}}{\text{（度数の合計）}}$$

階級(m)	度数(人)	相対度数
5以上10未満	0	0.00
10～15	1	0.05
15～20	2	0.10
20～25	5	0.25
25～30	8	0.40
30～35	4	0.20
合 計	20	1.00

相対度数の度数折れ線



問4 度数折れ線を比較して、気付いたことは？

ぐんま中学校のグラフは、A中学校のグラフより右に寄っているね。

ぐんま中学校の方が、幅が狭く高さが高くなっているね。

＜まとめ＞

- ◆度数分布表に整理すると資料のようすが数値でとらえやすい。
- ◆ヒストグラムや度数折れ線に整理すると資料の特徴が見てわかる。
- ◆全体の度数が異なる資料を比べるときは、相対度数を使うとよい。